



町の人□

★11月30日現在(前月比)
 男 4,214人(+1)
 女 4,351人(-3)
 計 8,565人(-2)
 世帯数 2,185 (-1)

★11月のうごき
 出生…4人 死亡…8人
 転入…10人 転出…8人

12月の納税

★町民税……………第3期
 ★国民健康保険税……………第9期
 ★国民年金……………第9期
 ★保育料……………12月分
 ★住宅使用料……………12月分

今月の表紙

21世紀に向けた おくにのまちづくり

一昨年、農村生活総合研究センターの助言を得ながら進められている“町おこし”。今回は、町内各分野で活力を感じさせる団体に、それぞれの地域振興に関わる体験談、今後の取り組みについて発表していただくというもの。会場に集まったのは約80人と、やや物足りないものの、錚々たる顔ぶれで、発表者ともに21世紀の小国町を考えようという熱意が感じられました。なお、昼食は、バイキング方式の小国のグルメ。こちらは人数が少なくてグー。



日曜診療

☑午前9時～正午
 ☑成人健康センター(法坂)
 (急患に限る)

心配ごと相談

☑毎週火曜日(午前10時～午後3時)
 ☑延命荘(☎95-2027)
 相談員 12/26 中橋 寛
 1/9 中沢誠三郎
 16 原 シヅ

行政相談

☑1月16日(火)
 (午前10時～午後3時)
 ☑延命荘
 相談員 原 シヅ

補聴器相談

☑毎週火曜日
 (午前10時～午前10時30分)
 第1、3月曜日
 (午前11時～11時30分)
 ☑役場(☎95-3111)

交通事故相談

★長岡相談所(長岡総合庁舎1階)
 ☎34-3111
 月曜～金曜 午前9時～午後4時
 土曜日は午前中
 ★移動相談所
 ☑1月10日(水)、17日(水)
 ☑柏崎市役所

JR塚山駅からのお知らせ

“年末年始ご旅行の指定券は
お早めに!”

この時期は、大変混雑いたしますので、指定券はお早めに電話でお申込みください。

- フルムーン団体旅行4コース
- 九州一周7日間の旅
費用 338,000円(お二人様)
出発日 平成2年2/12、20、3/3、6、12、24、27
 - 伊勢・南紀・奈良5日間の旅
費用 278,000円(お二人様)
出発日 平成2年1/25、2/18、3/4、14
 - 山陽・山陰5日間の旅
費用 266,000円(お二人様)
出発日 平成2年2/22、3/15、22、5/24
 - 四国一周5日間の旅
費用 264,000円(お二人様)
出発日 平成2年2/20、3/7、13、24、4/11、17、5/19

各40名様(20組)添乗員が同行、宿泊はご夫婦で1室をご用意しております。

詳しくは、塚山駅へお問い合わせください。(☎94-2203)

～あなたのやさしさを～
 NHK歳末たすけあい
 NHK海外たすけあい
 12月1日～25日

ハイ県くらしのダイヤル(12月分)

ダイヤルしましょう ☎025(285)7000

家庭用洗剤の正しい使い方	12月18日～12月25日
漆器の選び方と手入れの方法	12月25日～平成2年1月8日

※緊急な消費生活情報は予定を変更することがあります。
 ※情報は正午に切り替えます。

編集室

1980年代も残りわずか。年が明けると21世紀まであと10年となります。ところで、その最初の1月1日は1秒長いことをご存じですか。うるう秒で、午前8時59分59秒の次に1秒加わります。必要な方は時計を調節してください。たかが1秒と言わなれ、コンピュータ社会とされている今日「日進月歩」どころか「分進時歩」あるいは「秒進分歩」とさえ言われ、世界最高速

のN社製スーパーコンピュータは1秒間に22GFLOPS(ギガフロップス)、2千200億回の計算能力があるとか。これは演算パイプライン方式により複数(あるいはベクトル)処理を行うことによって実現しているそうです。何やら理解しがたい話になりましたが、年明け早々からいろいろあった平成元年でしたので、新しい年は1秒の大切さを味わいながらのスタートにしたいもの。先月号の“ゆとり”とは程遠い気はするのですが。

12/15
No.248

平成元年12月15日発行(毎月15日発行)

発行 小国町役場(〒949-152 新潟県刈羽郡小国町法坂七九三)
 企画編集 総務課庶務係 ☎0258(95)3111
 印刷 小千谷市位下印刷

新潟県小国町

広報 おぐに

21世紀に向けたおくにのまちづくり
地域活性化体験研究発表会 その1 2～5P

スムーズな道路除雪と
冬期間交通確保にご協力を! 6～7P

交通死多発で県内全域に
非常事態宣言発令中!! 8～9P



21世紀に向けた おぐにのまちづくり

地域活性化体験研究発表会から (その1)

11月19日、農村環境改善センターで行われた小国町の地域おこしの体験研究発表の内容を紹介し、会場の、発表者、聴衆とも静かな熱気を感じさせました。

▶小国町では、昭和60年に第三期の基本構想を策定いたしました「光と緑と愛にみちた町」をスローガンに掲げました。その目標への具体策として、地域資源の活用と産業おこしを重要課題とし、施策の展開をいたしておるところでございます。まちづくりを成功させてゆくには、いずれの分野にしましても、長い年月が必要でございます。その期間には色々な困難や失敗等も克服しながら、一步一步前進して行かなければならないと思っております。今日はまちづくり、産業おこしを自ら実践されている町内のリーダーの方に体験を発表していただき、実状をざっくばらんにお話いただき、また、討論を行っていただき、お互いにこれからの行動に力となるものが一つでもつかんでいただければと願っております。

(町長の開会あいさつから)



▲大久保信良さん

越後おぐに森林観光(株)の活動

大久保信良

延命寺は、昭和41年、42年にかけて、4集落にまたがって開田したところ。畑がなくなったため、その上を何とか開畑できないかということでしたところ、昭和50年頃第二次林業構造改善事業で、畑にするより、新しい林業の、新しい次元の観光、第三次産業ということで、町の働きかけのなかで昭和52年から3ヵ年かかって森林公園が誕生しました。その公園の管理運営には、拠点地域の地権者32名のうち不在地主2名を除いた者が組合をつくってあたりました。

設立目的は、林産物、民芸品の展示販売。利用者の誘致及び開発ということ。端的に言えば管理をしながら、なかの施設を利用し収益を上げてみてはどうかというものです。

昭和61年の11月に、株式会社に名義を替えました。

設立目的には、スポーツ施設、娯楽施設、遊園地等の設置運営、飲食店、旅館業、宿泊施設の経営等より具体的に記載してあります。

常勤者は、現在組合員のなかから男が6名、女が5名。

事業内容は、収益活動の面では、当初はトリム、売店、集会場。昭和56年にSLが導入され、61年には公社の力でウォーター 슬라이ダーが設置されました。今年10年目を迎えたわけですが、昭和55年の売上高3,552万円。昨年の実績が1億542万円ということで、増減はあるものの約3倍になっています。トリムコースの利用者は累計20万人。SLが23万人。スライダーが9万7千人。雇用促進ということで賃金の面では、55年には916万円

であったものが、昨年の実績では、2,123万円ほどになっており、人間的には、延べ人員が3,200人くらいになりました。

一番苦労したのは、駐車場です。今のスペースは、530台。大型が6台。込む時には、駐車場に入れず、道路に駐車する。そうすると、関係者以外の農地所有者が田に入れないということで文句がくる。年に何回かありました。キャンプ中の大雨もそうです。シーズン中に必ず一度はある。幼稚園等のキャンプの場合、夜中に逃げ場がないということで非常にこまりました。スライダーをいれてから、水を大量に使うので、お昼どき公園の水が全部断水した。これは、町で加圧ポンプを増強していただいたので解消されたと思います。

もうひとつは人員の確保の問題。土、日にお客が集中し、平日は11~2人、込むときは40人くらい人が必要。高校生もたのむので、事故がないように気を使います。

いままで何十万人という人が訪れて頂いて、危険を伴う遊具もあるが大きな事故が起きなかったことを安堵しております。

現在休憩施設を建設中ですが、この有効な運営。また、公社で計画されている大事業。この実現いかんにより、今後の取組み方が左右されます。

10年を迎え、それなりに一生懸命やってきましたが、若い人がいません。平均年齢60歳くらい。体力もなくなり、マンネリ化している。原点にたちかえって、どうしたらお客様が大勢おいでになって、満足してお帰りになることができるか真剣に考えてゆきたい。若い人が進んで公園で働く気になれるような組織と力を蓄えていきたい。私達が働くことが地域の振興に役立つならば…。

山野田振興組合の活動

牧野美三男

組合員10戸18名。63年2月頃から組織づくりの話し合いが始まる。3月下旬に東京から春休みを利用した親子30人の団体を迎え、季節はずれのかまくらとかどどん焼き、しみわたりや特設スキー場を作ってスキーを楽しんでもらったり、夜には菓細工、竹とんぼづくり、そば打ちなど盛り沢山のスケジュールを部落総出で子ども達も参加して、ふれあいの三日間を体験しました。その後、数回の話し合いのあと、4月に山野田振興組合を発足しました。

設立の趣旨は、山野田の今をみつめ、残された有形、無形の資源を生かし、地域の振興と組合員の親睦・交流を図ること。小国の中でも豪雪の地である山野田に、雪に立ち向かいながら生活している私達が、豊かでそして厳しい自然に抱かれながら、この地で生き抜く活力を次の世代にと受け渡す営みを、絶やしてはいけないという想いがあります。

組合の事業のあらまは、町の委託事業である芸術村会館、和紙の館、国際交流の館の三施設の管理運営。「芸術村」と連携しつつ、それに伴う宿泊・休憩の受け入れ体制、農産物、特産品の掘り起こし、養鯉、養鶏に取り組んでいる。

自分の本業と農業と組合の作業で人手不足であることが一番の悩みです。

自主的の事業が組合の資金源となっていますが、まだまだ無料奉仕の多いのが現状です。組合を作ったことにより、部落内でも顔をあわすことの少なかった人が、組合の作業を通して月一回の全員の話し合いや意見交換を行っていること、芸術村会館に訪れる種々な人達との出会いが大きな収穫だったと思っています。



▲芸術村では多彩な催しが…
～現代巨匠写真展

これからは、農作業ツアーを組んで田植えとか稲刈り、芸術体験を取り入れた、他にはないようなふれあいを多くしたツアーの企画により、一度来た人がまた来たいような運営をめざしてゆきたいと思っています。



▲牧野美三男さん



▲永見豊太郎さん



▲新潟食と緑の博覧会々場に
森林組合が建てたログハウス

小国町森林組合の活動

永見豊太郎

32年前、町村合併に伴い、小国町森林組合ができました。その前は、旧村の状況で森林組合がありました。しかし、森林組合が外へ向けて事業をしだした、労務班をお願いして受託事業に乗り出したのは、昭和48年頃からです。

最初は県林業公社の小栗山地内における3haの造林からでした。まとまったものとしては、七日町で28haほどの植林をおこなっており、平均して15~20haを逐次植えています。小国町の人口林率は現在18%ほどになりました。

組合員数は昭和63年度末で1,767名。出資金は3,003万9千円。役員は理事13名。監事3名。職員数6名。工場、労務の常勤は10名。臨時雇用はピーク時には100名前後。年間では延べ7,500~8,000人となっています。

事業は、昭和48年当時、年間取扱い事業高が300万円くらいでした。昭和52年に二次林業構造改善事業により資本装備を充実いたしました。昭和56年に農村地域定住促進事業によりシイタケの生産、乾燥施設などをつくりシイタケ生産組合も結成されています。指導、販売、購買、利用、金融、その他の事業。昭和58年からの新林業構造改善事業では、森林組合に1億2,500万円ほどを補助事業総事業費にあてていただいた。国産材加工施設は昭和61年度当初は6,150万円の目標に対し4,600万円の取扱い事業高であった。県内でも初めての施設であり、県外を含めぞくぞくと視察団が訪れ、その対応で仕事にならないような状況もありました。その後順調に推移しており、従来事業とログハウス関連で概ね2億円の取扱い高となっています。

地域活性化体験研究発表

ぎんなん生産組合の活動

若井 徳松

62年5月に設立総会。組合員201名。組織づくりのきっかけ等はすべて行政主導でありました。昭和58年に町総合計画のための住民意向調査が行われ、この中の産業振興に関する部分では、特産品の開発等が挙げられています。10年以上続いた転作で180ha小国町の水田面積の14%が米を作らなくなり、養蚕、畑作の衰退、40ha、1億円産業となったたばこも62年には皆無の状況となるような情勢変化の中で、町産業開発課は、小国和紙とぎんなんを特産にしようと、林産集落振興対策事業を導入され、町団地を造成されました。60年にはコウゾ1.5ha、イチヨウ5haの栽植が行われました。61年にはイチヨウ1haを4mの大型苗木に植え換えております。この生育管理面では、まったくの暗中模索で、小国の成木に聞くよりしかたがないということで、全町の1本1本の調査を行いました。生育場所、持ち主、木の年齢＝樹齢、樹形の写真、収穫量の推計、果実の収集、販売先、肥培管理等々を調べました。町内には250本の成木があり、推定収量は7～10tと予測されたわけです。61年12月には、産業開発課、普及事務所、農協、共済でイチヨウの研究会が発足し、小国はイチヨウでいけるということで、大分県の日出町、国東町、東京築地市場を視察するなど産地化の調査を実施しました。62年4月には全町に栽培希望の調査を行いました。この時の新植希望が2,000本にも達し、驚きと喜びと非常に大きなものがありました。そして80名の参加のもとで、スタートいたしましたわけでありす。

6～7月には、ぎんなん栽培の研修会を全町8ヶ所で実施。秋には関東の花園町から苗木を購入し



▲若井 徳松さん



▲ぎんなん皮剥処理機
大量集出荷までにはまだ改良が…

配布しました。63年3月には250本の成木があるが、品種がまちまちで、約30種類におよんでおり、この品種を統一し、市場性、収益性を高めるため、桃イチヨウの品種を上小国地区では「桃太郎」、中地区では「八石」、下地区では「白銀」の三種に統一すべく接穂の母樹となる木を選定し、母樹の認定を行っております。また、品種名については町内からアンケートにより応募いただき、最終的には町長に名付け親となっていただきました。5月の第2回総会では、組合員数157名となり、理事を3名から5名に、増員し、各部落に支部をつくり支部長をおくことといたしました。6月にはぎんなんのみでなく、町の特産品の産地化をすすめていくため、町、農協、ぎんなん生産組合、農業委員会、森林組合からなる産地化推進協議会が発足しております。

その後も愛知県の祖父江町に視察研修にいらしておりますし、名古屋市場でも販売先としての調査を行っております。林産集落振興

対策事業により団地化をすすめるため、秋には大貝に2.2ha、苔野島に1.3ha、法坂に1.5ha、合計5haを造成いたしました。資本設備の充実にも努め、農協には選別機を導入していただき、均質な市場性の高い商品としての出荷体制も整えようとしております。また、産地仲買人に販売していた経緯もございましたが、産地としてのブランドを確立してゆくためにも、農協への一元集荷・販売を呼び掛け、昨年度は4tを集荷させていただきました。団地化については、今年度はさらに大貝に0.5ha、三桶に1ha、新町・橋沢で0.6ha、上谷内堂平新町を含め0.7ha、七日町で0.8ha、桐沢・法坂の平山に1.4ha、合計5haの造成を完了いたしました。都合3年間に5,000本の苗木を植え、所要面積は約40haにおよぶものと推計しております。

今後は、農協で雪中貯蔵戸、処理施設の建設に取り組んで頂く計画がございます。20年前に町から配布されたぎんなんがみごとに実をつけているという話も聞いておりますし、先進地を視察してきて、接いでから早いもので4年、6年目でほとんど実を結んでおり、6～8年でみなさんが植えられた木が実を結んでくるものと確信しております。10年後、15年後、あるいは100年後の大きな経済効果をあげるべく、日本一の産地をめざして活動を続けてまいりたいと思っております。



小国農業協同組合の活動

長谷川健吾

地域おこしとはどういうことかと考えてみました。国際化という波の中で、エスカレーターに例えれば、上りと下りがありますが、農村社会、農業というものが下りのエスカレーターに乗っているのではないかと考えるわけです。そこで立ち止まると、どんどんと下ってしまう。それが現状ではないかと…。従って私達は立ち止まってはならない、絶えず上っていくのが、そのエネルギーが地域おこしではないかと、そんなふうにとらえています。

では農協はいったいどんなことをやっているのか。みなさん方は組合員であり、農協のやっていることはすべてご理解いただいているわけですが、大きく分けると生活と営農だと思います。その中で人づくり、組織づくり、産業おこしに取り組んでおります。個々に申し上げれば、畜産の問題、養蚕の問題、多々ありますが、二つにしばってお話しします。

ひとつは、小国の農業の実態であり、農業を片手間でやっているという方も多く、農業だけを論じてくれるなという声も耳にします。小国町の産業構造を見ますと、総生産額の18%にすぎません。しかし、これでも小国は農業立町だろうと、私は考えます。なぜなら、小国に土地があるからみなさん営々とここに住んでおられる。土地がなければ、ここから出て行くだろう、そんな気がします。そんな中では農協はいかに大事に土地を守ってゆくかということが、大きな使命だろうと考えます。先祖伝来から受け継いだ、約1,200haの美田があります。日本一うまいといわれる米。米作はあくまでも大事にしてゆきたい。その一環として昨年カントリーエレベーターを



▲長谷川健吾さん



▲深夜まで続いたカントリーエレベーターの荷受作業

設置させていただいた。その過程で、圃場整備が先か、カントリーが先かという論争があり、また消費者のニーズに答えるには、うまい米というのは品種の問題だけではなく、良い施設に貯蔵し、今摺米として出荷してゆくことが大切であるとの話もなされたわけです。しかし、現実には、カントリーに持って行けば何でも取ってくれるという風潮がでて来ています。また、私達は初年度60%の稼働に持ち込むのに窮々としたましたが、山形県の三川町では、3集落で250ha規模のカントリーをつくり、初年度から100%稼働させている。また、うちのよう荷受けに翌朝までかかるという事態はでていません。なぜなら、生産組合長を中心として一日平均した荷受けがきちんと

出来ているからです。また、小国では、カントリーに出すと米がないという声を聞きます。三川町では、通常1.8ミリで整粒を出すところを、あえて1.9ミリで出している。それだけ良い米を全国的に売っていかうという考え方になっています。小国の米は将来どの方向をめざすのか。収量を出す方向でということであれば、私どもそのようにいたしますが、将来、小国の米を日本一の米にするのかどうか。その辺の論争をみなさんから頂きたいと思っております。また、価格の面では、決して上がる傾向にはなく、所得の追及ということになると、組織化、集団化を図った中でコストの低減に結んでゆくという方向に努力しなければなりません。

二点目は、畑作振興をどうするか、付加価値をどのようにつけてゆくかであります。50年には畑作のための育苗施設、その後集荷予冷庫をつくらしていただいております。なんとしても小国の顔となる特産品を作って行きたいということで努力はしております。しかし、残念ながら、今加工施設を持ち合わせていない。八石茄子も2tほどつくりましたが、すでに完売しております。平成2年にはなんとか加工施設に取り組みたいと考えております。町の各種イベントには積極的に出向いて、武蔵野市、中野市等都市との交流もすすめてまいりたいと考えております。組合員のみなさんからの要望、ご意見というものは、即、農協の事業に反映するわけでありす。みなさんから農協に対してご意見、ご批判を積極的に寄せていただくことが、これからの地域振興につながるのではないかと考えております。

スムーズな道路除雪と 冬期間交通の確保にご協力を!

——平成元年度除雪計画決まる

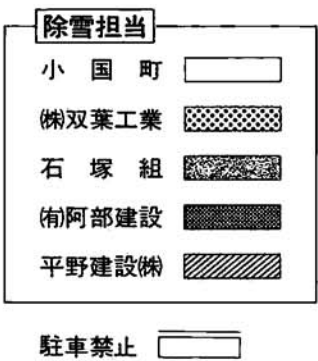


新潟地方気象台の予報が見事にはずれ、うれしい3年続きの少雪の昨冬(小国町の最大積雪深77cm(2/4)、降雪量392cm)、さて、ことしの雪は?

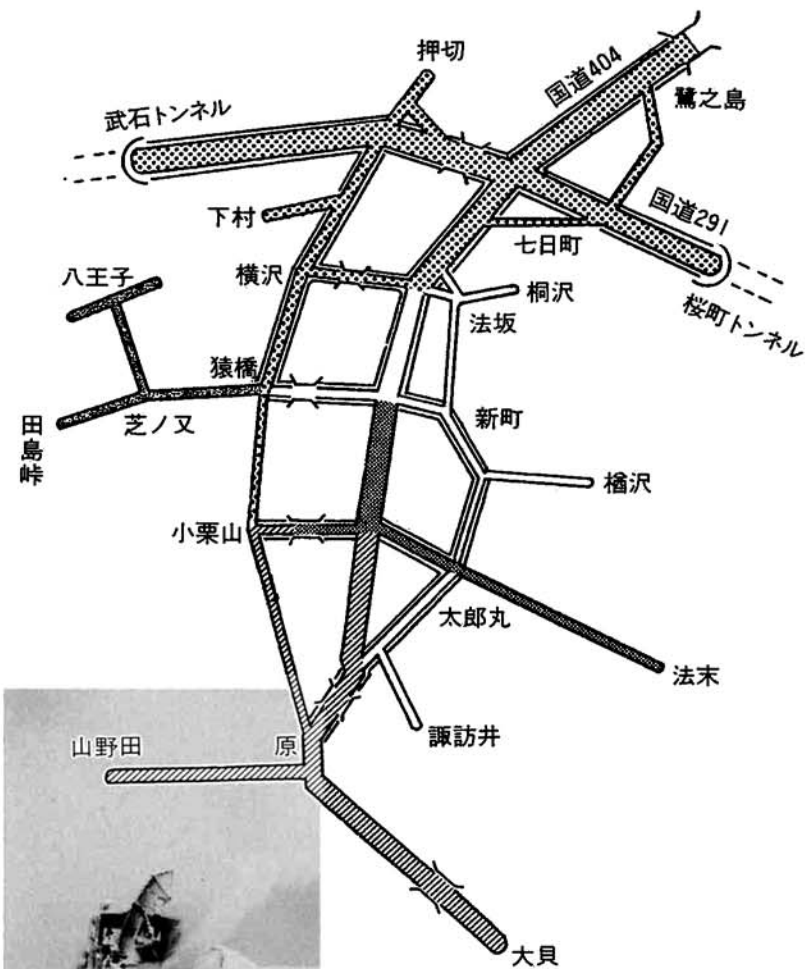
降雪期を迎え、町では11月24日の除雪会議で関係機関と協議のうえ、平成元年度の除雪計画を決め、初雪のあった30日には、除雪機動班の結成式も行われました。

除雪計画では、国道が55.8km(昨年比+0.2km)、町道は56.5km(同比+0.1km)が除雪路線に指定されました。消雪パイプ路線は国道町道合わせて、44.5km(同比+2.9km)になりました。

冬期道路交通の確保のため、道路除雪にみなさんのご協力をお願いします。



■平成元年度除雪計画道路図■



※路線延長の見直しにより、延長が短くなっているが、実質的には、昨年と同じである。

スムーズな道路除雪は みなさんの協力なしには できません

- ※屋根の雪おろし等で、除雪後の道路には絶対ださないでください。止むをえない場合はすみやかに取片付けて
- ※雪消しのため路上に雪出しはスリップ事故のもと
- ※除雪作業がすみやかにできるよう路上駐車は絶対にしないで
- ※道路沿いの大事なものは赤布で目じるしを
- ※除雪作業中は危険です。近寄らないで
- ※ナダレの標示箇所をお通りの方は充分注意を
- ※ナダレや交通に支障がありましたら至急連絡してください。

- 連絡先**
- 柏崎土木事務所 ☎0257-23-6119 (直通)
 - 小国町除雪対策本部(役場内) ☎95-3111(代)
 - 小国町除雪企業体
 - ㈱双葉工業 ☎95-2210
 - 平野建設㈱ ☎95-3468
 - ㈱阿部建設 ☎95-2320
 - 石塚組 ☎0257-27-2240

消雪パイプが止ります

午後2時~3時
午後4時~5時

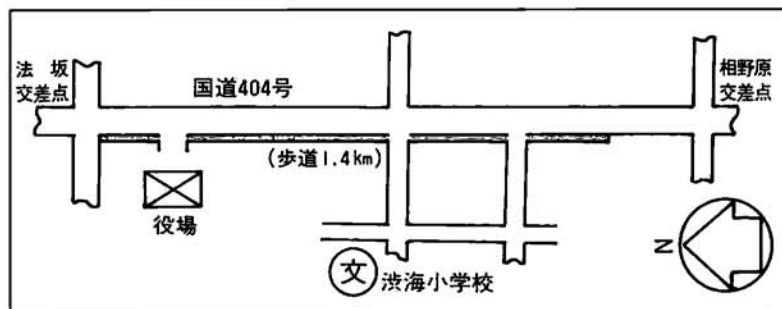
消雪パイプは第2融雪用電力制度に加入していることから、2時間の運転休止時間帯が設けられています。運転休止時間帯後、多少シャーベット状の雪が残ることがありますが、ご協力くださるようお願いいたします。

——第2融雪用電力制度
従来の熱に限定されている融雪用電力制度と別に、冬期における負荷平準化と地域社会の便益向上を図るため、消雪ポンプなどを契

約対象とした新しい制度です。昭和60年4月1日からスタートし、国県町道の消雪パイプ(井戸本数全部で124本)は、全てこの電力制度を利用しています。

歩道除雪(1.4km)が 県の除雪認定路線に

一昨年から試験的に町で行っていた国道404号線の歩道除雪(法坂~二本柳間)が、今年度県の歩道除雪の対象路線に認定され、県費補助で町が歩道除雪を行います。除雪延長は1.4kmで、昨年町が購入した小型ロータリー(80馬力)で通学路を確保します。



北陸地方の3カ月予報

寒さの厳しい時期と寒さの緩む時期が交互に現れ、寒暖の変動が大きいです。

12月の予報

前半は移動性高気圧におおわれ穏やかですが、後半は冬型の気圧配置となり寒くなるでしょう。

1月の予報

中頃に寒さの緩む時期がありますが、月末には一時大雪のおそれ

があります。

2月の予報

冬型の気圧配置となり寒い日が続くでしょう。

★要素別予報★

	気温	降水量	日照時間
12月	平年並	平年並	平年並
1月	平年並	平年並	平年並
2月	低い	多い	少ない

備えて憂いなし 必ず携行しよう! 冬の装備品

雪道でタイヤが埋まったり、スリップして動けないときは、お互いに助け合うのが一番!そして装備がバッチリなら、もう安心!

- 緊急脱出用具
スノーヘルパー(くぼみからの脱出に使う)タイヤチェーン(急な登り坂で登り切れそうもないときなど使用)砂(凍結路面でタイヤが空転したときに撒く)
- その他
スコップ(先のとがった物)30cm四方くらいの板(ジャッキの下敷用)スペアタイヤ(必ず冬用タイヤを用意)スノーブラシ、手袋・長靴や予備の防寒衣、索引ロープ

■常設除雪車の現況■

区分	機種
小国町	除雪ドーザー
	タイヤドーザー
	ロータリー除雪車
	〃(小型)
	グレーダー
平野建設	タイヤドーザー
	ロータリー除雪車
阿部建設	タイヤドーザー
	ロータリー除雪車
双葉工業	タイヤドーザー
	ロータリー除雪車
石塚組	タイヤドーザー
	ロータリー除雪車



交通安全



交通死多発で県内全域に 非常事態宣言発令中!!

—— 県内の交通死
前年比32.7%増 (11月末現在)

ことし、全国的に交通事故による死者が急増、昭和50年以後では最悪の1万1,000人余りを突破すると予想されています(11月末現在9,900人)。県内でも死亡事故が多発、11月末現在で昨年同期より64人多い、260人となっています。こうした事態に県と県警では、11月27日、県内全域に交通死亡事故非常事態宣言を発令、また、28日、政府も交通死で「非常事態」を宣言、交通事故防止を呼びかけています。

高齢者事故や 若者事故が多発

県内の交通死亡者 260人は、昭和52年以後の記録で、今月31日まで県内全域に発令された非常事態宣言は、昭和62年以來2度目。また、県内で発生している死亡事故の特徴として、直前横断や飛び出しによる高齢者事故やスピードの出しすぎ・一時不停止による若者事故、シートベルト非装着者の車外放出事故が多発しています。11月末現在、11人が死亡している(柏崎市7人、西山町4人)柏崎警察署管内でも、高齢者事故で

6人、スピード事故で3人が亡くなっています。また、発生件数全体からみると、この他に、子ども事故、飲酒事故、女性ドライバー事故の増加が目立ちます。

事故は減っている しかしマナーが低下(小国)

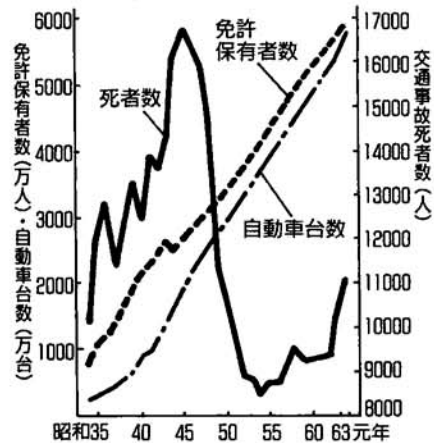
さて、わが小国町はどうでしょう。件数、傷者とも大きく減少しています。しかし、交通マナーの低下やルール無視(歩行者～登下校や通勤時、ドライバー～黄信号での交差点への無理な進入、一時不停止など)を最近見かけます。

■交通事故発生状況■

	区分	ことし	昨年	増減	増減率
県内	発生件数	11,430件	10,609件	+821件	+7.7%
	死者	260人	196人	+64人	+32.7%
	傷者	13,667人	12,717人	+950人	+7.5%
柏崎刈羽地区	発生件数	445件	403件	+42件	+10.4%
	死者	11人	13人	-2人	-15.4%
	傷者	549人	469人	+80人	+17.1%
小国町	発生件数	17件	24件	-7件	-29.2%
	死者	0人	0人	0人	-%
	傷者	18人	38人	-20人	-52.6%
	物損事故	31件	34件	-3件	-8.8%

(11月末現在)

●交通事故の推移(全国)●



みなさんも見かけたことがありませんか。

あなたが主役の 交通安全

歩行者は、安全を確かめてから横断し、急な飛び出しはしない。夜間の外出は、明るい服装か反射材を身につけるようにしましょう。ドライバーは、思いやりの運転に努め、飲酒運転は絶対しない。夜間、雪の日は、スピードを控え、シートベルト等正しく着用しましょう。



スピードの出し過ぎによる転倒事故。いわゆる自爆事故で、ことし柏崎刈羽地区で多発している

安全のバトンを渡そう新たな年へ

飲酒運転の追放、スリップ事故の防止、踏切事故の防止の3点を運動の重点に、12月11日(月)から来年1月10日(木)の1ヵ月間、年末年始の交通事故防止運動が実施されています。昨年、この期間中に発生した交通事故は、飲酒事故は減少、踏切事故ゼロでしたが、スリップ事故が大幅に増加(238.1%増)しました。飲酒の機会が多くなったり、降雪



などで道路環境が悪化する年末年始、正しい交通ルールとマナーの実践で、交通事故の防止に努めましょう。

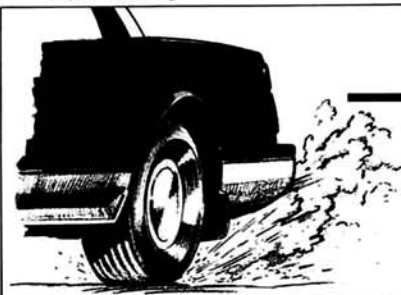
■小国町の交通(人身)事故の推移■

年別	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元
件数	19	25	19	17	15	18	18	17	9	12	23	16	21	20	25	17
死者	1	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0
傷者	26	64	27	27	20	22	19	33	12	19	28	15	24	26	38	13

(元年:11月末現在)



「スリップ」とひと言でいうけれど



駆動輪が路面をとらえ切れない

「空転スリップ」

原因 発進時のアクセルの踏みすぎや走行中の急加速やスピードの出し過ぎ等
★発進が困難になるほか、走行中に発生すると、危険な尻振りスリップやスピンに直結しやすい



車輪の回転が止まったまま、タイヤが路面を滑っていく

「滑走スリップ」

原因 ブレーキの踏みすぎ、急ブレーキ、急激なシフトダウン等
★制動距離が伸びるだけでなく、ハンドル操作をしても進路を修正することができなくなる



危険な尻振りスリップ、スピン!

原因 路面の凹凸、タイヤへの荷重のアンバランス等の影響で、空転スリップや滑走スリップの度合いが左右どちらかに著しくかたよった場合
★クルマの後部が瞬間的に横すべりしたり、あるいは車体が一気に半回転または一回転してクルマのコントロールが失われる。

ご存知ですか?

優良無事故運転者表彰

(助)柏崎地区交通安全協会では、毎年12月31日現在で、優良ドライバーの表彰(地区・県連名表彰)を行っています。次の要件を満し資格を有する人が対象になっています。

●受賞要件

- 交通安全協会(県内いずれでも可)の会員であること。
- 年1回以上、運転者講習会を受講していること。
- 表彰対象期間中無事故で、かつ違反等により行政処分を受けていないこと。
- 反則行為による3年間の合計点数が3点以下であること。

●表彰の種別及び資格

- 地区連名表彰
 - 10年表彰…10年以上の運転経験を有し、過去10年間無事故・無違反で5年表彰又は旧規程の7年表彰を受けていること。

(注)5年表彰は(注)該当者に限り、更新手続きの際年間通して行っています。また、それ以外有料で随時行っています。

- 県連名表彰
 - 15年表彰…旧7年表彰又は新10年表彰を受けていること。
 - 20年表彰…15年表彰を受けていること。
 - 25年表彰…20年表彰を受けていること。
 - 30年表彰…25年表彰を受けてから2年以上経過していること。
 - 40年表彰…30年表彰を受けてから5年以上経過していること。

※表彰伝達は、安全協会小国支部の運転者講習会で行っています。

●表彰上申手続き

上申書を地区の安全協会支部長から受領し、必要事項を記載し翌年1月15日までに地区支部長へ提出する。(詳細は、12月の支部の回覧をご覧ください)

●問い合わせ先

(助)柏崎地区交通安全協会
☎0257-23-3256
同 小国支部
☎0258-95-3866

Bridge (橋)

小国町を南北に貫流する渋海川には、現在、大小合わせて13の橋（永久橋11、吊り橋2）が架かり、町の東西を結んでいます。

11月には、今年度から着手する新三桶橋（三桶～大貝間）の安全祈願祭や架換工事中だった中曽根橋（小栗山～太郎丸間）の開通式が行われました。

また、桐沢地内では、渋海新橋（桐沢～下村間）の工事も順調に進められています。

小国の里では、橋梁の架換・新設で今、渋海川渡河橋の建設ラッシュとなっています。

中曽根橋はひと足早く完成

昨年8月に着工、事業費3億円余りで進められてきた、中曽根橋架換工事がこのほど完了し、28日午前、同橋左岸（小栗山側）において、県・町など工事関係者と地元代表者、住民ら約150名が出席して、開通式が行われました。

神事、テープカットのあと、牧野町長や地元の3代夫婦、中沢正雄さん一家に続いて、参列者全員



安全祈願祭で鉄入れを行う牧野町長。新橋は、平成3年秋開通予定である

で渡り初め。御神酒を乾杯して、架換えられ橋の完成を祝いました。

今後、橋の前後の道路改良工事が行われ、平成2年度には、小栗山～太郎丸間の改良整備が完成する予定です。

新三桶橋は小国で一番大きな橋

14日午前、架橋地点左岸（三桶側）で行われた新三桶橋の安全祈願祭には、工事関係者、地元代表者らが集まり、橋の無事な完成と工事の安全を祈願しました。

国道の改良に伴い渋海川に架ける町内15番目のこの橋は、今年度



▲450日余りで完成した中曽根橋の渡り初め。この日正午から通行が解放された

事業費約1億5千万円で左岸橋台をつくる予定。

この橋が完成すると、橋長113.4m、桁下高23mの渋海川に架かる一番の長大橋となります。

渋海新橋は来年秋に開通(予定)

すでに両岸の橋台と橋脚が完成している渋海新橋は、昭和62年11月に着工され、ことし3回目の冬を迎えます。

今年度事業費は、約5,500万円。上部工の桁も工場で作成の段階となっており、来年2月下旬から3月上旬に桁架設が行われ、秋には、14番目の渋海川渡河橋が誕生します。



▲来秋には、塚山小国線のバイパス的機能を発揮する工事中の渋海新橋

ロマンモティエ訪問記 vol.2

訪問記 Vol.2 スイス見たまま 聴いたまま② ピエール・オベールが愛したロマンモティエ

標高が700mのこの地は、夏休みになると観光に訪れる人が多く、この教会でもよく演奏会が催されるとのこと。その中には、かつて日本の奏者も来たことがあると説明された。

数百年から千年以上の歴史を刻んだ教会に触れて一行は、しばし厳粛な気持ちになった。

教会をあとに町並みに出ると、小国の町旗がロマンモティエの旗と州旗とともに掲げられているのが目にとまった。

スイスでは、日常的に外部に旗を掲げる習慣があるとのことだが、庁舎に三つの旗が掲げられ、晩秋の快晴のなか、ゆっくりとはためいていたのが印象に残る。

その後一行は、去る9月、小国芸術村で版画展を開催された版画家の故ピエール・オベールさんの工房に案内された。



▲オベール夫人と共に、高原牧場のレストランで昼食会

オベールさんの工房は、ロマンモティエ教会を見おろす小高い丘の家並みのなかにあった。

今は亡き、オベール氏がこよなく愛したロマンモティエの大自然の一角に創作現場がそのまま保存され、小さなギャラリーとなっていた。

オベール夫人が、かつて夫が使用していた版画製作用具をひとつひとつ手にいとおしむように、オベール作品が出来上がるまでを熱心に説明してくれました。（次号へ続く）

文：大久保重剛地域振興課長

スイス・ボー州ロマンモティエとの国際姉妹都市提携の経緯②

1987年8～9月/ロマンモティエにも良く訪れて創作活動をしているジュネーブ在住の美術家ピエール・フォンテーヌさんが小国和紙による芸術作品研究の為、来町、2ヵ月滞在した。

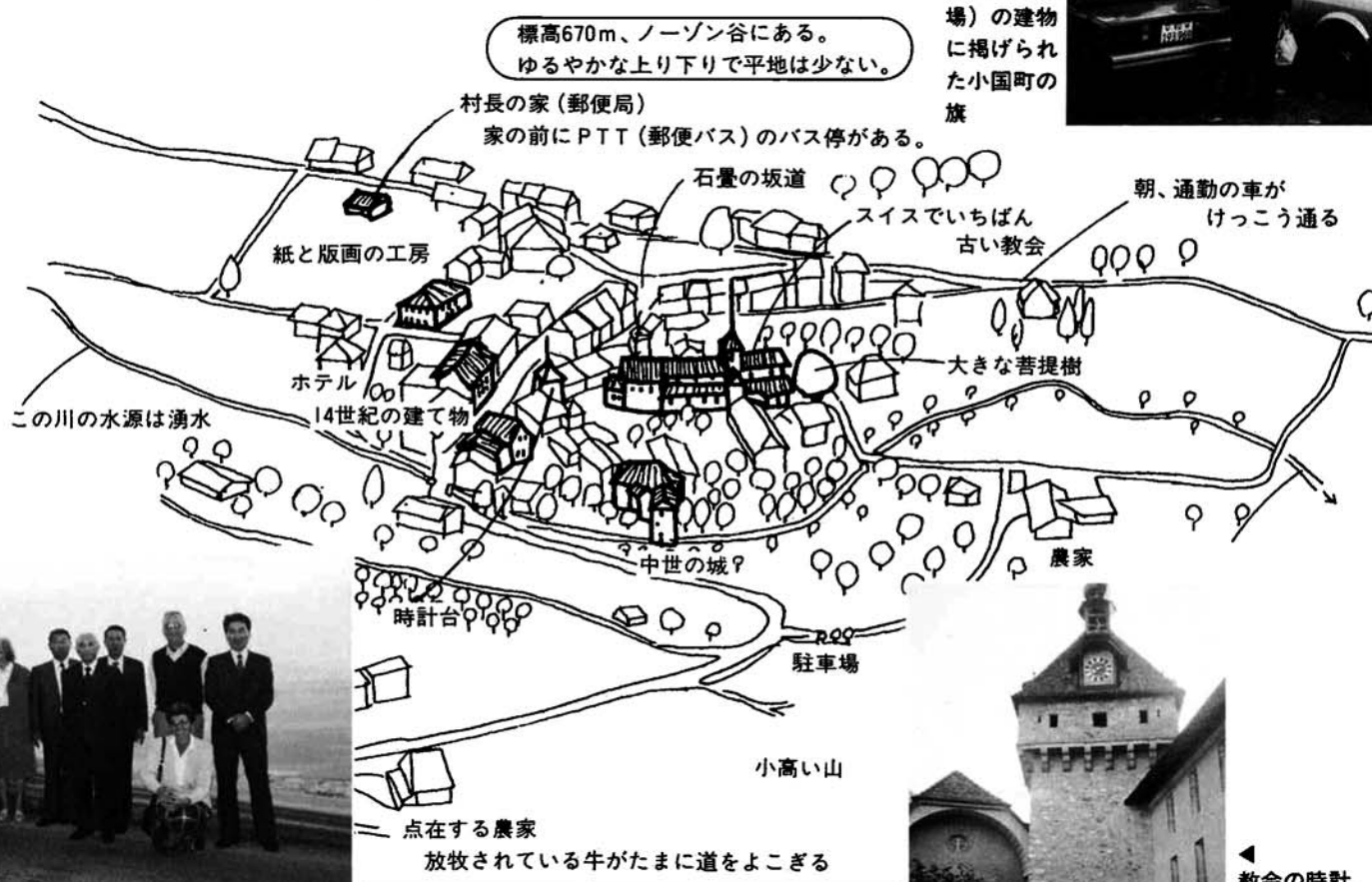
6月/小国町から民間による友好訪問団一行19名がロマンモティエを訪れ、友好親善を深めた。

1988年8～10月/チューリヒ連邦工科大学助手ピトー・ベルチン氏、小国和紙を用いたクラフト研究の為、来町、小国芸術村に滞在した。



▶庁舎（会議場）の建物に掲げられた小国町の旗

ロマンモティエはこんなところ



標高670m、ノーゾン谷にある。ゆるやかな上り下りで平地は少ない。

村長の家（郵便局）家の前にPTT（郵便バス）のバス停がある。

石畳の坂道

朝、通勤の車がけっこう通る

スイスでいちばん古い教会

大きな菩提樹

農家

駐ち場

小高い山

点在する農家

放牧されている牛がたまに道をよぎる

時計台

この川の水源地は湧水

14世紀の建て物

ホテル

紙と版画の工房

中世の城?

大きな菩提樹

朝、通勤の車がけっこう通る

スイスでいちばん古い教会

農家

駐ち場

小高い山

点在する農家

放牧されている牛がたまに道をよぎる

時計台



▲高原牧場からの帰り道、アルプスの山々を背景に記念写真



▲教会の時計台。14世紀頃建てられた

柏崎地域広域事務組合の財政事情

柏崎地域広域事務組合の昭和63年度決算の概要と、平成元年度予算の9月30日現在の収支状況、財産・組合費等の現在高をお知らせします。

昭和63年度決算

昭和63年度決算は、10月23日に開かれた組合議会定例会で認定されました。

歳入総額 19億9,798万円 (前年度比 9,586万円減)

歳出総額 19億3,715万円 (前年度比 9,850万円減)

内訳○一般会計

歳入総額 3,724万円

歳出総額 3,274万円

○社会福祉施設・し尿処理事業特別会計

歳入総額 6億7,688万円

歳出総額 6億5,087万円

○消防事務特別会計

歳入総額 9億8,679万円

歳出総額 9億7,407万円

○斎場・ごみ処理事業特別会計

歳入総額 2億9,707万円

歳出総額 2億7,947万円

組合債の状況 (昭和63年度末現在)

借入金総額 5億3,017万円 (前年度比1,374万円増)

内訳○消防債 2億6,413万円

○衛生債 (し尿処理) 7,681万円

○衛生債 (ごみ処理) 2,948万円

○民生費 (養護老人ホーム) 3,815万円

○民生費 (さざなみ学園) 1億2,160万円

*昭和63年度中の借入額 8,050万円

内訳 消防施設整備 (救急自動車、本部署車庫増築、

高柳分遣所増築) 6,990万円

清掃運搬施設 (し尿運搬車) 1,060万円

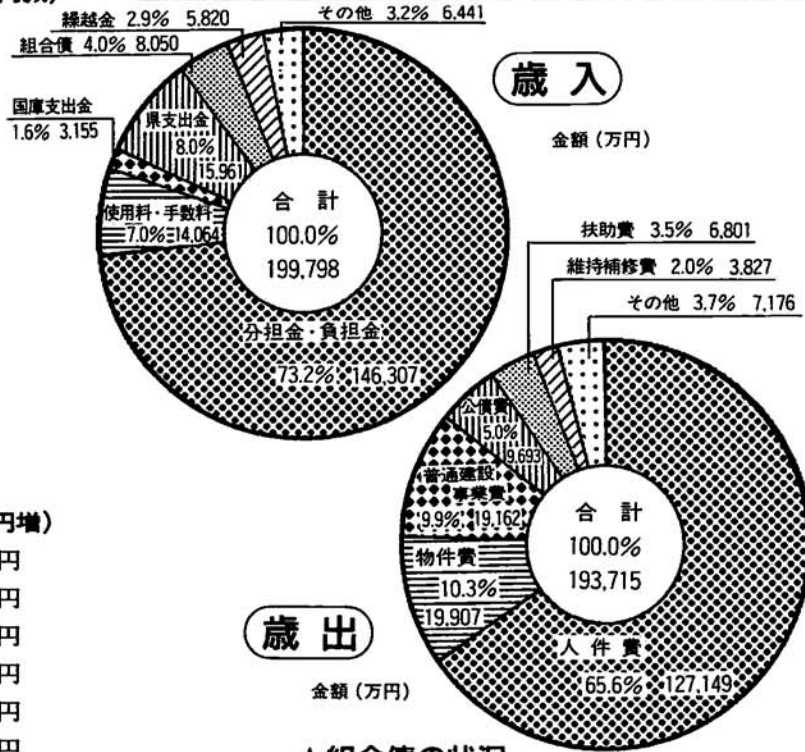
平成元年度予算

★会計別予算執行状況と施設別予算

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計	3,824万円	2,465万円	1,661万円
社会福祉施設・し尿処理事業特別会計	6億0,210万円	3億1,921万円	2億7,871万円
(養護老人ホーム)	1億7,150万円		
(精神薄弱児施設)	1億5,440万円		
(し尿処理場)	2億7,620万円		
消防事務特別会計	9億6,250万円	4億6,635万円	4億0,046万円
斎場・ごみ処理事業特別会計	11億4,180万円	2億2,598万円	1億9,981万円
(斎場)	2,300万円		
(ごみ処理場)	11億1,880万円		
合計	27億4,464万円	10億3,619万円	8億9,564万円

★市町村別負担金の状況

- 柏崎市 10億5,938万円
- 刈羽村 8,503万円
- 西山町 1億1,017万円
- 出雲崎町 6,448万円
- 小国町 1億0,093万円
- 高柳町 6,333万円



★組合債の状況

4月から9月までの借入れはなく、4月以降の返済額は3,727万円で、9月末の借入現在高は4億9,291万円です。今年度の借入予定額は3億7,220万円で、事業別では次のとおりです。

- 清掃運搬施設 (し尿運搬車) 1,020万円
- 消防施設整備 (はしご付消防自動車、救急自動車) 4,470万円
- ごみ処理施設建設 (ごみ処理・粗大ごみ処理施設建設第1年次分) 3億1,730万円

★財産の状況

- 基金 4,541万円
- 土地 10万4,134㎡
- 有価証券 26万円
- 建物 9,473㎡

★一時借入金の状況

9月末現在の借入額はありません。

大盛況むさしの青空市

▶特設舞台で芸能披露



11月12日、開村100年にあたる東京都武蔵野市の青空市に、小国町も友好都市として出展しました。今年9回目を迎えた青空市は、市役所脇の市民公園を会場に開催され、5万人の入場者で賑わいました。

会場には、市民が出展した露店やリサイクルコーナーなどのテントが所狭しと並び、小国町をはじめとする姉妹都市や友好都市からも自慢の特産が出展されました。

武蔵野市とは、9月1日友好交流に合意したばかりですが、開会式では、友好都市の首長として牧野町長が紹介され、また武蔵野市の土屋市長が、小国町のテントで物産の販売と小国町のPRをするなど、友好色が全面に押し出されました。小国町からは農産物、錦鯉、餅や菓子などを持参。またたく間に売りつくしたほか、郷土芸能を披露し喜ばれました。

物産販売では小国町出身の山岸紀夫さんご夫妻から手伝っていただいたほか、多くの小国町出身者から駆け付けていただきました。

正月の飾りを出荷

民具生産組合

▶正月にはこの飾りを



12月1日、町民具生産組合 (小川三千広組合長、61名) では、正月用の飾り約22万本を関東方面へ出荷しました。高齢者の経験を活かした仕事としてすっかり定着した民具生産ですが、都市部の住宅の年初めの玄関を飾るこの飾り、町内で生産されているのは、ちょっとした高級品の扱いとなっているそうです。

ご希望の方には、すこし余裕がありますので、特別価格1,500円でおわけしますとのこと。申し込みは役場地域振興課内民具生産組合事務局まで。(☎95-3111)

平成元年度税に関する標語

- 見つめよう税の身近さ大切さ
- 関東信越国税局長賞 (優秀)
 - 小国中学校3年 小島里美
- 税金はいつも生きてるこの町に
- 柏崎税務署長賞
 - 小国中学校2年 相波岳之
- 幸せなみんなの暮らしを支える税
- 小国町長賞
 - 小国中学校3年 峯村早苗

くらしと年金

国民年金の加入届をお・わ・す・れ・なく!

国民年金は、日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満の方で、学生を除き、サラリーマンを含めた全ての人が加入することになっています。

- ①会社を辞めて新しい職場を探している方
- ②会社を定年退職した方で、まだ還暦 (60歳) を迎えていない方
- ③結婚のため会社を退職し、サラ

リーマンの専業主婦になった方は、役場に国民年金の加入届をすることになっていますが、お忘れではありませんか。

加入届を忘れずと、国民年金保険料を納められませんか (①②に該当する方) し、保険料納付済期間と見なされず無資格期間になる (③に該当する方) 場合もあります。その結果として、老後の生活基盤となる老齢基礎年金を受けられなかったり、障害者や夫に先立たれても、何の年金も保障されなくなる場合もあります。

もし、届出をまだ済ませてない方は、すぐに役場にお出かけください。

～町内就職で伸ばそう郷土の発展～

町内企業求人情報コーナー

[12月分]

事業所名	所在地	職種	規模	求人数	年齢	就業時間	資金
上越工業 株式会社	桐沢	鍛造工 検査工	52	男女2 男女2	20~35	8:00~16:35	128,000~160,000 100,000~140,000
山繁商店	法坂	ガソリンスタンド	6	男1	20~35	8:00~17:00	150,000
東洋電子工業 株式会社	原小屋	製造工	65	男女不問 5	18~45	8:00~17:00	102,000~150,000
飯塚鉄筋 株式会社	鷹之島	鉄筋工及び見習	10	男10	18~55	8:00~17:00	220,000~260,000 未経験者日給9,000円
小国町森林組合	法坂	木材加工 建築 (経験不要)	20	男5	20~40	8:00~17:00	170,000~230,000

柏崎、長岡、小千谷など近接市町村の求人情報については役場1階ホールでごらんください。

渡辺友里恵さん(上小1年 上岩田) 最優秀賞に輝く!!



NTT新潟支社と新潟日報社主催による第11回「わたしの住むまち」絵のコンクール(応募総数約5,800点)で、渡辺友里恵さん(上小1年・上岩田)の作品が、小学校1学年の部で最優秀賞に選ばれ、10月22日、新潟市で表彰式が行われました。

応募した作品は「夏休みの思い出」と題し、プールのあとのシャワーを浴している子供たちの様子が、クレヨンで描かれています。

☆友里恵さんからひと言——
「みんなが裸で押し合っている様子をおもいきり大きく描きました。体の線を描く時がいちばんむずかかったです」



製造業のみなさんへ 工業に関する統計調査

通産省は、12月31日現在で平成元年工業統計・石油消費構造統計調査を実施します。

工業統計調査は、製造品の出荷額、原材料使用額などを明らかにすることを、石油消費構造統計調査は、石油を中心とするエネルギーの産業別、規模別、地域別の消費の実態を明らかにすることを目的としています。

年末年始のご多忙の中を申し訳ありませんが、調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力をお願いします。

なお、調査票に記載された内容は、統計作成の目的以外に使用することは絶対にありません。

国際結婚・こんな点が変わります 不平等撤廃へ法例改正

国際化の進展に伴い、最近では国際結婚が増えています。

ところが、これまでは国籍や性別の違いによって、例えば離婚のときなど、男性側の国の法律だけが適用され、女性側の法律は考慮されていませんでした。そこで、法律の適用上でも男女平等に扱うことにしようと法例の一部が改正され、平成2年1月1日から施行されます。

どんな点が変わるのか、そのあらましを見てみましょう。

1. 協議離婚が可能に

国境を越えてめでたくゴールインしたものの、夫婦仲がうまくいかず、結局は離婚ということもありません。その場合、離婚については、これまで「夫」の本国法によるものとされてきました。

例えば、日本人女性と外国人男性のカップルの場合、外国人男性の本国法によっては離婚できないケースもあったわけです。

こんな場合でも日本女性が日本に住所があれば、今回の法例改正で日本の法律が適用されることになり、話し合いによる協議離婚が認められることになりました。

2. 親権者も平等に

さて、離婚した方がいいが、子供をどちらが養育するか。つまり親権者についてはどうでしょうか。



これまでは原則として「父」の本国法が適用されました。このため、父が外国人で母が日本人の場合、外国法によっては、日本人の母が親権者になることができない場合がありました。

ところが改正によって、「子の本国法」が適用されることになりました。

この結果、親権者は話し合いで決めるか、裁判で争うこともでき、日本人の母親が子を手元において、育てることも可能になります。

昭和62年の日本人と外国人の国際結婚は約1万5千組に上ります。このうち日本人女性の場合は約4千4百組。今回の改正は、日本国籍を有する子供を持つ日本人の母親にとって、朗報といえましょう。

3. 養子縁組はより簡単に

このほか、国際養子縁組についても、これまでは養親、養子の本国法が複雑にからみ、養子縁組の成立を難しくしていましたが、改正により養親の本国法に一本化され、分かりやすく、また、簡単になりました。

大会の結果

●第11回 剣道大会

(11月23日、農環センター、参加者72名)

団体戦(小学生)

- 優勝…浜海小学校Cチーム
山崎健太郎、佐々木 昌
高橋 伸吾、岩野 広和
- 2位…浜海小学校Dチーム
- 3位…下小国小学校Bチーム
〃 …上小国小学校Bチーム

団体戦(中学生、高校生、一般)

- 優勝…Bチーム
板屋 雅人、高橋 大輔
角山 徳郎、坂本 典男
山岸 久夫

個人戦(新人)

- 優勝…相波 真介
- 2位…山崎健太郎
- 3位…小川 功治
〃 …安沢 裕一

個人戦(小学校低学年)

- 優勝…安沢 大陸
- 2位…北原 歩
- 3位…安沢健太郎
〃 …北原 祐介

個人戦(小学校高学年)

- 優勝…岩野 広和
- 2位…小川 勤
- 3位…金子 真介
〃 …小川 慶太

個人戦(中学生)

- 優勝…中沢 貴弘
- 2位…高橋 大輔
- 3位…山岸 靖志
〃 …坂本 典男

個人戦(一般)

- 優勝…藤田 豊
- 2位…小川 剛
- 3位…角山 徳郎
〃 …関口 孝志

●第1回刈羽郡体育協会 親善球技大会

(10月22日、刈羽村、郡内4町村)

野球

- 優勝…スターズ(小国町)
- 2位…東 友(刈羽村)

ゲートボール

- 優勝…松寿会(西山町)
- 2位…法 坂(小国町)

バレーボール(男子)

- 優勝…西山町チーム
- 4位…小国町チーム

バレーボール(女子)

- 優勝…刈羽村チーム
- 4位…小国町チーム

●第13回秋季会長杯 バレーボール大会

(11月19日、柏崎高校小国分校体育館、参加6チーム)

- 優勝…球友会A
- 2位…役 場

第21回全珠連検定合格者

【珠 算】

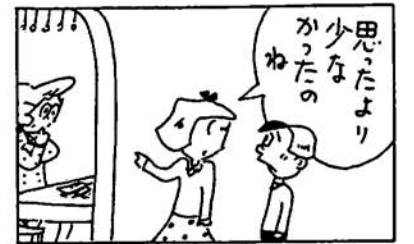
- 式段…青柳 弘子(小国中3年)
- 1級…高橋美代子(浜小6年)
- 2級…高波 秀美(浜小5年)

【暗 算】

- 1級…野田絵利子(浜小4年)
- 2級…小林知香子(上小4年)

すわやか君

西村 宗



書道教室

(11月の作品)

俳句教室

11月の作品
(兼題…梨・ひややか)

- *冷やかや 胡座に抱いた 子のぬくみ 鳥居 笑山(法 坂)
- *冷やかや 薄着の夫の 大きくきめ 田中 重男(相野原)
- *理舗を出し 早や冷やかな 星一つ 若井七次郎(法 坂)
- *外燈の 光冷やか 夜の雨 笹崎 辰栄(諏訪井)
- *人の世の かた隅暗し 梨の芯 片桐金四郎(小栗山)

小国短歌(11月の作品)

- 六十路生き始めて買ひし新夜具に 包まれて身の幸を覚ゆる 小栗山 茂野 武文
- 川づたい樹の下行けば風に撒る 木の茶は笠に音のさびしく 上岩田 大久保ヨネ
- 八海の初冠雪見ゆ鉄塔の 道路舗装に働きつつ 小栗山 今井 昭一
- 木守の柿中の一つを木枯しが 吹き飛ばしゆき明日は雪かも 下 村 町田 勝治
- 若き日に登りし魚沼三山に 今初雪白く輝やく 小栗山 山荷百之莖

